

# ふるさと河内

発行所  
南河内  
むらづくり塾

## 新年のごあいさつ

むらづくり推進協議会

会長 山本孝夫



あけましておめでとうござい  
ます。今年も皆様方に取りま  
してよき年でありませう心から  
お祈り申し上げます。

南河内むらづくり塾の活動も  
今年で二十年目を迎え、節目の  
年となりました。「記念イベン  
ト」も二十回目「菜の花フェス  
タ」は十七回迎えようとしてあ  
ります。又、「ふるさと河内」発  
行回数も第四十一号と部数を重  
ねてまいりました。多くの諸先  
輩方が築きあげられたビジョ  
ンに添えるよう心を入れて取り組  
みたいと思えます。地域の皆さ  
まを始め関係各位の尚一層のご

## 謹賀新年

- 岩国市長 福田良彦
- 岩国農林事務所長 江藤純嗣
- 山口東農業協同組合 代表理事組合長 神尾透
- 錦川森林組合 代表理事組合長 森重和美

支援ご指導を賜りますようよろ  
しくお願い申し上げます。

昨年度は山本守塾長から岡田知  
之塾長にバトンタッチされまし  
た。二年間咲かなかった菜の花  
を、昨年は見事咲かせご自分で  
花道を飾られました山本さん長  
い間ご苦勞様でした。これから  
もご指導宜しくお願い致します。

さて、昨年の十二月十二日の  
第三回自治会長集会の席で、ア  
ンケート調査のお願いを致しま  
した。今から六年前の平成十九  
年十二月から平成二十年一月に  
かけて、南河内地域の農業の現  
状や今後の在り方について検討

## 新年のごあいさつ

南河内むらづくり塾

塾長 岡田知之



あけましておめでとうござい  
ます。健やかに二〇一四年の新  
春をお迎える事とお喜び申し  
上げます。

南河内の活性化を目的とした  
むらづくり塾も満二〇年を迎え  
一つの節目として、新たな活動  
を始めなければと思えます。土  
地集約、補助金のカット、等々  
我々の周囲には多くの困難があ

する基礎資料を得るため、むら  
づくり推進協議会、むらづくり  
塾、岩国農林事務所、岩国市、  
JA山口東が連携してアンケ  
トを実施しました。その当時耕  
作放棄地が南河内全体の水田で  
約十四町歩アンケート結果では  
十年後の予想は約三十八町歩に  
増える予測となりました。又、  
世帯主、後継者とも「高齢化」  
「後継者不足」「耕作放棄地の増  
加」に危機意識を感じておられ  
る結果です。誰がどうやって農  
地、農業を守るかでは、集落営  
農の強化について議論し受託組  
合で南河内を守ろうとしました  
が六年経過して申込者が激減し  
てきている現状です。当時から  
「検討の場や勉強会に参加して  
みたい」と「参加はしないが地  
域として検討は良いことと思  
う」の意見はそれぞれ世帯主、  
後継者共五十%の方がお持ちで  
した。

河内ふれあい広場  
開設十九周年  
記念イベント

今年、これまでより一週間  
前倒ししての、十一月十七日  
(日)、南河内むらづくり塾を中  
心に「ふれあい広場開設十九周  
年記念イベント」を開催しまし  
た。当日は、雨予報で、開催が  
心配されたが、関係者一同の熱  
意に雨も我慢してくれたのか、  
申し訳程度の小雨で、打上げの  
餅まきまで予定通りの行事を行  
うことができました。

最近、食の安全安心・地産  
地消を標語に、全国的に産直市



はと思いません。後継者不足は日  
本全体の問題です。あまり心配  
しては、先に進む事は出来  
ません。本当に必要なであれば、  
若い人達も見捨てる事はないと  
思います。

河内ふれあい広場も発足時よ  
り二度も売り場の拡張を行い、  
今では野菜の置き場を考え、六  
時前より出荷されています。私  
達も次世代の塾生を育てること  
にも重点を置き、長く続くよう  
塾生一同努力して参りますので、  
地域の皆様をはじめ関係各位の  
御支援、御指導をよろしくお願  
いします。

が増加、生鮮品の販売量全体に  
占める割合も漸増しているとの  
こと。当地の産直市はやがて成  
人式を迎えようとしています。木  
造の店舗はすべて手作りです。今  
も頑丈、発足時の話を伺うと、  
当時の活力が彷彿とされます。

以来今日まで、村づくり塾生  
はもとより、南河内小学校PT  
AやJA、市、県等関係機関の  
協賛の下、脈々と継続・発展し  
てきました。元来、「南河内のふ  
れあい広場・朝市」は新鮮で安  
いのが売り、例えば南河内の特  
産の、直径六センチ、長さ三〇  
センチにもなるうかという長ナ  
スが、ジェジェエ三本一〇〇  
円、チョット鮮度が落ちたら五  
本一〇〇円、大根も二本一〇〇  
円、その手間を考えると安すぎ  
る？頭の下がる思いです。その  
伝統の下、本イベントの主旨は  
「朝市のお客さんへの感謝・お  
もてなし」で、絶品の肉うどん、  
男手による豪快やきそば、季節  
の農産品たっぷりの炊き込みご  
飯、一回り大きな餅六個等すべ  
て三〇〇円、ぜんざいに至って  
は一五〇円、小学校のPTAか  
らはフライドポテト、ポップコ  
ーンが一〇〇円、母親クラブか  
らは本物のコーヒーが一五〇円、  
若妻会の花の苗五〇〜六〇円、  
更には、買い上げ五〇〇円ごと  
の抽選券で、南河内の美味しい  
コメ一三〇点、合計一二〇kg  
の他、十二月まで有効の野菜券  
一〇〇点をプレゼント等サービ  
ス花盛りとなっています。

これからも、よき伝統の上に、  
新しい工夫を重ね、益々愛され  
る「南河内ふれあい広場」とすべ  
く二〇周年に向けて塾生一同心  
を新たにしているところでは  
す。皆でよき伝統を継承して行きま  
しょう。

# もったいない栗

南河内の栗生産は、昭和三十年代に始まり、今日まで約半世紀を超えて、平均果重三十五gと大果、食味・加工特性に優れた晩生品種岸根を中心に、生産者の集まりである「栗生産組合」と集荷・販売を担当する「森林組合」との二人三脚で県内でも有数の産地としての地位を継続しています。

しかし、当地も御多分にもれず人・樹とも高齢化が進展していきませんが、ブランドの維持や出荷後の森林組合での労力を最小限とする為に庭先選別を徹底しています。それだけに、生理障害や落下時の傷及びチョットだけの虫害等の為、森林組合には生栗としては出荷できないものが相当の割合で含まれており、これら捨てるには「もったいない栗」を活用する手立てはないものかと思案していたところ、岩国農林事務所の御指導もあり、市内複数の加工業者から引き合いがありました。森林組合では、生栗としての



ブランドの問題もあるため扱うことは難しいが、折角の引き合いでもあり「栗生産組合」で対応出来ないか検討したところ、世話人の合意や森林組合の御理解に加え、森林組合集荷場の近くに善意による事務所の提供もあり、取り組むことが出来ました。当初はもったいない栗と言うあやふやな規格のため品質にばらつきもあつたが、集荷にあつた世話人の努力と出荷者の協力により次第に統一され、納品終了後に行つた、業者との反省会においても好評で、来年度の継続につき合意できました。今年七十二名から合計二、二七〇kgを納品できましたが、業者からの要請を満たすには量的に不十分な状況です。来年はさらに多くの方に積極的な出荷により、販路の安定的な拡大が図れることを、期待したいものです。

## 大山・伊房・押ヶ谷の猪

材料は国から無償提供・労力は地元負担による鳥獣害対策の国庫補助事業を活用した猪柵を、岩国市の御指導を得て、平成二十三年度は蓮華山のみと大山地区に一・六キロを設置、二十四年度には押ヶ谷地区及び伊房地区に二キロを延長しました。平成二十四年は両裾空きの状態でしたが、二十五年は激減、大山の奥まった大谷地域では全く被



害が無い状態、伊房地区でも春のタケノコ、秋の栗は従来以上の収穫となつており、水稲の被害も殆んどありませんでした。タケノコは猪に食べてもらいたい面もあるが、また、公道は柵を設置できない為、七十五m折り返しでの威嚇とせざるをえないが、二十五年には山口県農林総合技術セン

## 地域の温かさにふれて

南河内出張所 杉村真由美

南河内出張所に勤務して、早九ヶ月が経ちます。この間、色々な地元行事に参加させていただきました。菜の花

### 菜の花フェスティバル

の案内

平成二十六年年度の菜の花フェスタを今年も椎尾八幡宮例祭に併せて、左記の通り開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

- 一、期日 四月十三日(日)
- 一、会場 岩国西中学校広場
- 一、行事の内容
- 新鮮野菜、加工品販売
- パザール(焼そば、うどん、炊き込み御飯、餅、コーヒール等)
- 餅まき、宝さがし
- カラオケ大会
- よさこい踊り
- 菜の花ぞうすい無料配布
- その他

## 今日の献立...

花フェスティバルとふれあい広場記念イベントの時は、男性陣が腕をふるって作る焼きそば販売のお手伝いをしました。秋の球技大会のソフトバレーでは、参加チームが少なく、地域の方と出張所メンバーで合同チームを作りハッスルハッスルしました。(結果は三チーム中三位)南河内には、地産の新鮮な野菜や果物が豊富にあります。それらの食材で調理された美味しいお弁当をいただく機会もあり、大変幸せです。私は転勤族だったので、地域の方と接するといった経験がなかなかありませんでした。このように南河内の皆さんの温かさに触れる事ができ、また一つふるさとが増えたような気がしました。今後も積極的に地域の行事に参加していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

私が毎日の夕食の献立を書き始めて十年になりました。きつかけは特には無いのですが毎日の夕食作りには悩ませていて、自分の参考にすればと新聞の折り込みに入っているカレンダーに書き初めました。改めて前年の今日は何を作っているかな?と見てみると、結構その時期は野菜を中心にしたメニューなのですが、ふと気がくと同じ煮物にしてもゆとりがある時は具材を細かく記してあり、多忙な時だったのかな、煮物としか記してなく、去年の今日は何があつたのかなと考えたりしています。あの時は、ああいう事があつたのか

## 編集後記



かなて思い出し、日記としての役割りも果たしているのかなと一年を振り返って思っています。今年も無理なく楽しみなながら記していこうと思っております。

平成二十六年の新春、あけましておめでとうございます。皆様お揃いで清々しい新年を迎えの事と思います。

自民党が政権に復帰して一年、米政策がまた大きく変わろうとしています。政府は五年後を目途に生産数量目標の配分を止めること。経営規模を問わず生産調整に協力する農家に払ってきた交付金は段階的に廃止。規模拡大による水田経営の効率化を促すと伝えられています。

気象災害が各地を襲った年が暮れ、新しい年がやってきます。農家は天候には勝てません。でもみなさん、伴に頑張りましょう。

本年も編集部十名、皆様に楽しみに読んで頂きますよう一丸となり頑張つてまいりたいと思っております。編集部一同

「ふるさと河内」はインターネットでも見られます。

南河内地区社会福祉

で検索してください

社協だより